

FTD50~400CN

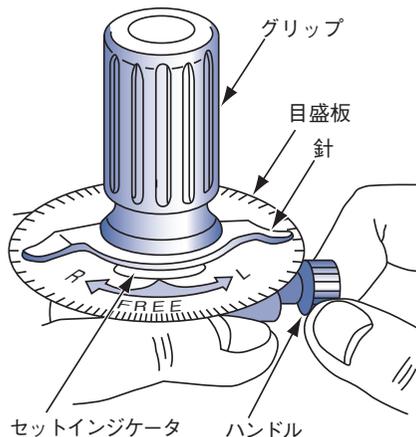
FTDのプリロードの方法

プリロード機能とは、ツマミで測定点付近まで予備トルクをかけ、測定中の振り角度を小さくする機能。

トルクドライバFTDシリーズでは、最大トルクに近づくとき、手首が振れトルク値が読みづらくなるのを防止するため、プリロード機能があります。

FTD型トルクドライバは手首が振れないようあらかじめ使用トルク近くにプリロードしておくとう便利です。

- 1.左手でFTDを支え、右指でハンドルを右トルクの場合は左にまわす。
- 2.10数回転空転した後、指針が動き出し任意のトルクに容易にセットできる。
- 3.セットトルク値以上のトルクに対してトルクが測定できる。プリロードしない時はハンドルを空転の中央セットインジケータ(赤印)をFREE印に合わせる。



FTD-S

FTD-Sの指針と置針のセット方法

- 1.指針が“0”を指すように目盛を合わせる。
目盛盤を軽く押さえ付けながら回す。
- 2.置針を測定方向と逆方向から回して“指針”に合わせる。
- 3.トルク測定または締付けを行なう。

